

平成18年8月22日

県政記者クラブ報道機関 各位

やまがた観光まちづくり塾 in 庄内の開催について

このたび、やまがた観光まちづくり塾 in 庄内を下記のとおり開催することになりました。庄内での開催は、塾生が企画・運営する最初の塾です。庄内地域における観光まちづくりの新たな動きが始まります。

なお、塾生による記者発表も予定しております。

記

1 参加者

後藤靖子名誉塾長 (山形県副知事)
川口直木塾長 (企画プロデューサー)、
宮城俊作アドバイザー (奈良女子大学生生活環境学部住環境学専攻 教授)、
塾生他 約50名

2 日程

開催日時：平成18年8月26日(土) 12時30分～

【まちあるき】

12:30～ 酒田市内 (酒田市民会館集合)
15:00～ 鶴岡市内 (鶴岡市役所集合)

【レクチャー、ディスカッション】

17:00～ 致道博物館内御隠殿
宮城教授によるレクチャー。その後、塾生によるディスカッション。

3 塾生による記者発表

平成18年8月26日(土) 致道博物館内 御隠殿 午後6時30分から
平成18年8月27日(日) 本間美術館内 旧本間家別邸 午前11時30分から

担当：観光企画担当 中山、西堀

TEL 023-630-2372

○やまがた観光まちづくり塾の概要

「やまがた観光まちづくり塾」は、観光まちづくりに活躍する人材の育成を目的としています。各地域で活動されている方々の交流（ネットワークづくり）により、各地域で活躍する際の糧（知恵や力）となること。また、塾生の活躍を通じ、県民の更なる自立的かつ主体的な活動のきっかけづくりに繋がることを期待しています。

塾生による企画・運営で、県内4地区の持ち回りで開催します。庄内地区開催は最初になります。

名誉塾長：後藤靖子 山形県副知事

塾長：川口直木 企画プロデューサー

顧問：清水慎一 (株)ジェイティビー常務取締役

主催：山形観光アカデミー

共催：山形県

後援団体 (18 団体)：さくらんぼテレビ、テレビユー山形、山形新聞・山形放送、山形テレビ、庄内日報、米沢新聞、(社)山形県銀行協会、山形経済同友会、山形県商工会議所連合会、山形県商工会連合会、山形県農業協同組合中央会、JTB東北、JR東日本仙台支社、山形県温泉協会、(社)山形県観光物産協会、山形県旅館生活衛生同業組合、山形青年会議所

○経過

塾生の募集 平成18年6月9日(金)～6月23日(金) 塾生数 78名(平成18年7月末)

開講式 平成18年7月11日(火) 山形グランドホテル 塾生39名が出席し開催

○川口直木 (かわぐち なおき) 塾長

1950年 東京都生まれ

企画プロデューサー

京都デザイン研究所 代表取締役

(株)三菱総合研究所 客員研究員(集客事業、地域政策等)

千葉商科大学政策情報学部 非常勤講師(プロデュース演出論)

黒部商工会議所・NPO法人黒部まちづくり協議会・黒部市観光協会 顧問 など

○宮城俊作 (みやぎ しゅんさく)

1957年 京都府生まれ

京都大学大学院修士課程(造園学専攻)修了 ハーバード大学デザイン学部大学院修了

米国内の設計事務所勤務を経て帰国

1993年 千葉大学緑地環境学科 助教授

2001年 奈良女子大学生生活環境学部住環境学専攻 教授

1991年より設計組織 PLACEMEDIA パートナー

主な作品

植村直巳メモリアルパーク (1996年度日本建築学会賞)

岡崎市美術博物館ランドスケープデザイン

清里写真美術館ランドスケープデザイン

飛騨高山美術館ランドスケープデザイン

多摩ニュータウン稲城長峰地区集合住宅地

平等院宝物館ランドスケープデザイン (2002年度日本建築学会作品選奨・BCS賞)

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館ランドスケープデザイン

グランドハイアット東京ランドスケープデザイン

主な著書

『現代建築集成・ランドスケープ』メイセイ出版、『再発見される風景』(共著) TN プローブ、『ランドスケープデザインの視座』学芸出版社、『見えない庭』(訳書) 鹿島出版会